

- | | |
|---|---|
| <p>1 教育目標 「心豊かに学び合い 育ちあうこどもの育成」</p> <p>2 指導目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心も体も健やかで 明るい子 ・思いやりがあり 心の優しい子 ・様々な経験を通して 主体的に遊ぶ子 ・自分の思いを伝え 素直に表現する子 ・感じる心 考える力がある子 | <p>3 努力事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・命を大切にし、友達と心を通わせ仲間と一緒にいる楽しさを味わいながら自己表現力や主体性を育てる。 ・子育ての楽しさと大切さを学ぶ場とし、園と家庭が連携しながら生活習慣や道徳性を養う。 ・教師の専門性と実践的指導力の向上を目指して研修に努め、職員の資質向上を図る。 |
|---|---|

4 評価（A達成している B概ね達成している Cあまり達成していない D達成していない）

項目	評価の観点	園の自己評価	園としての成果と課題（記述） ◎成果 △課題	園関係者評価	園関係者の意見（記述）
教育目標 指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ・教育目標を意識して、子どもたちの育成に取り組むことができたか。 ・子どもたちを、指導目標に掲げる「子ども像」に近づけることができたか。 	B	<p>◎友達や教師との関りの中で、自分の思いや考えを伝えようとしたり、相手の気持ちに気づこうとしたりする保育ができた。</p> <p>△目標共通理解の場が取組必要である。</p>	B	概ね達成できていると思われ、適切に評価されている。
保育活動	<ul style="list-style-type: none"> ・園生活に必要な基本的な生活習慣を身につけさせることができたか。 ・幼児の内面理解に努め、一人一人に応じた適切な関わりや援助ができたか。 ・主体的な遊びが展開できるような環境構成を、計画的に設定することができたか。 ・保育記録を活用し、日々の指導につなげることができたか。 	B	<p>◎幼稚園生活において身につけておくべき生活習慣や、道徳的な言動などについて、その都度適切に指導することができた。</p> <p>◎園児の「やりたい」という発言や話し合いを大切にし、「主体的」という言葉を常に頭に入れ、環境構成や声掛け等を行えた。</p> <p>△保育記録ありきにならぬよう、精選して負担を軽減する必要がある。</p>	B	概ね達成できていると思われ、適切に評価されている。
運営・組織	<ul style="list-style-type: none"> ・園運営への参画意識を持ち、スムーズな運営ができるように協力できたか。 ・園務分掌における役割に責任を持ち、遂行することができたか。 ・職員同士認め合い、励まし合いながら、明るい職場づくりに努めたか。 ・安全・防災等についての危機管理意識を忘れず、日々の保育やその他の業務ができたか。 	B	<p>◎各自が園務分掌の役割に責任を持ち、計画的に業務を遂行することができた。</p> <p>◎時には声を掛け合い、相談しながら、互いをカバーし合える園経営ができていた。</p> <p>◎ヒヤリハットについてすぐに報告するなど、全職員が、常に危機管理意識を持つことができていた。</p> <p>△補助の先生との打ち合わせが、勤務時間の関係で取りにくかった。</p>	B	概ね達成できていると思われ、適切に評価されている。
研修・研究	<ul style="list-style-type: none"> ・園内研修を計画・準備する中で、自身の日々の保育や幼児の実態をより深く見つめることができたか。 ・園内研修での事後の反省や助言、及び他園の研究保育参観を、以降の保育に役立てることができたか。 ・職員間で日常的に保育についての情報交換や相談を行い、専門性を高め合うことができたか。 ・人権・倫理問題等の意識向上や教育課題の解決に向けて、積極的に園内外の研修に参加し、自らの資質向上に努めたか。 	B	<p>◎市内研究保育において、園児の実態を十分に把握したうえで、適切な準備や当日の保育ができていた。</p> <p>◎日々の保育の反省や内外からの助言等に対して真摯に受け止め、常に前向きに保育を進めようとする姿が見えた。</p> <p>△市内の研修が多く、園内での教育課題解決に係る研修日が取れなかった。</p> <p>△午後からの研修のため、午前保育にせざるを得ないことへの疑問を感じた。</p>	B	概ね達成できていると思われ、適切に評価されている。
家庭・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・学校園連携ユニットの取り組みを踏まえて、保育内容の連続性・系統性などを意識することができたか。 ・個人懇談会、送迎時の会話等により、保護者と信頼関係を深めることができたか。 ・子育てに対する保護者の不安や悩みを受け止め、地域の子育てセンターとしての役割を果たせたか。 ・地域の教育力を、園に活用することができたか。 	B	<p>◎送迎の保護者はもちろん、園バス利用の保護者にもバス添乗員を通して、コミュニケーションは大事にすることができた。</p> <p>△保護者の子育てを応援したい反面、どこまで踏み込んでよいかわからない場合がある。</p> <p>△本園は園区が広いので、地域との連携を取りにくい状況にある。</p>	B	概ね達成できていると思われ、適切に評価されている。
行事	<ul style="list-style-type: none"> ・行事の数や時期は、適切であったか。 ・園行事の内容は、創意工夫され幼児にとってふさわしいものであったか。 ・外部から講師を招いた行事（音楽、劇、造形活動、スポーツ等）は、幼児にとって適切であったか。 	B	<p>◎園内だけでは取り組めない活動を、講師の先生方に担っていただくことができた。</p> <p>△今年度は日程の都合上、交通安全に関する行事を行えなかったことが残念であった。</p>	B	概ね達成できていると思われ、適切に評価されている。